

古河電工グループ 2023年度第1四半期決算

2023年8月3日

古河電気工業株式会社

取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 福永 彰宏

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本日のアジェンダ

23年度Q1決算および23年度予想

- 23年度Q1決算のポイント
- 23年度Q1実績-要約P/L
- 23年度Q1実績-売上高の増減要因
- 23年度Q1実績-営業利益の増減要因
- 23年度Q1実績-セグメント別売上高・営業利益
- 23年度通期予想について
- セグメント別売上高・営業利益
- 23年度Q1実績-要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

23年度Q1決算および23年度予想

■米州の情報通信および世界的なエレクトロニクス関連需要の減少により前年同期比で減収減益

(単位：億円、円/kg、円/メートル)	*FY22_Q1	FY23_Q1	前年比	
	a	b	b-a	
売上高	2,603	2,464	▲ 139	自動車関連は回復傾向だが、米州の情報通信や機能製品（半導体製造用テープ、HDD用アルミblank材など）の在庫調整および需要減 【増収】電装エレクトロニクス（自動車部品・電池）【減収】インフラ、機能製品
営業利益	11	▲ 28	▲ 38	売上減少 【増益】電装エレクトロニクス（自動車部品・電池）【減益】インフラ、機能製品
経常利益	77	▲ 18	▲ 95	持分法による投資利益および為替差益の減少、支払利息増加
親会社株主に 帰属する 当期純利益	53	▲ 17	▲ 70	営業利益および経常利益の減少
銅建値 平均	1,286	1,219	▲ 67	
為替 平均	130	137	+8	

* (株)UACJ（持分法適用関連会社）の国際財務報告基準（IFRS）任意適用開始によりFY22実績値をリステイト（Appendix参照）

23年度Q1実績-要約P/L

■通期予想は据え置き

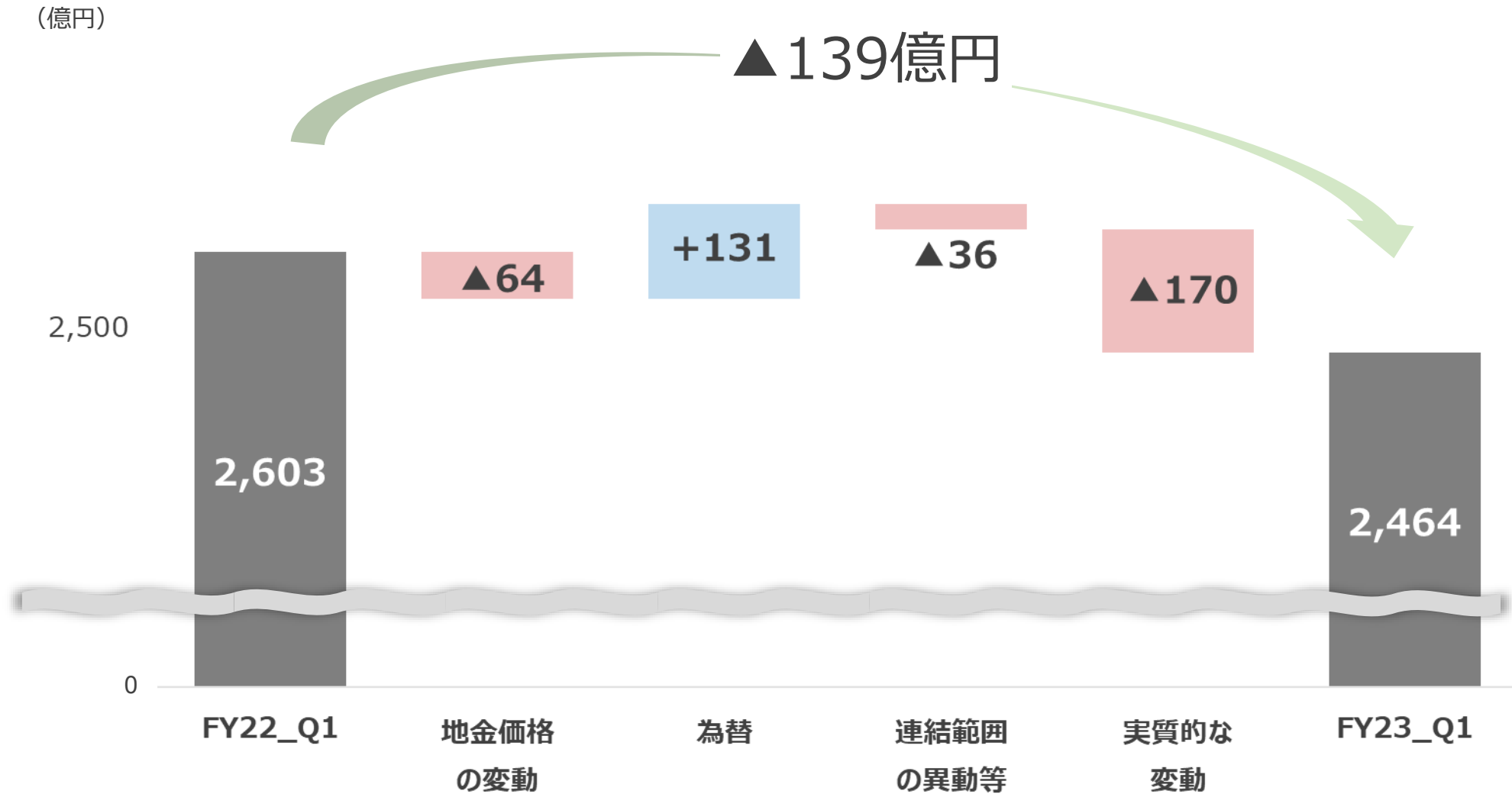
(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	*FY22_Q1	FY23_Q1	前年比	主な増減内訳 (Q1)
	a	b	b-a	
売上高	2,603	2,464	▲ 139	7ページ参照
営業利益	11	▲ 28	▲ 38	8ページ参照
(率)	0.4%	▲ 1.1%	▲ 1.5	
持分法投資損益	37	10	▲ 26	
為替損益	30	12	▲ 18	
経常利益	77	▲ 18	▲ 95	
(率)	3.0%	▲ 0.7%	▲ 3.7	
特別損益	4	26	+22	・特別利益：+39 (9→48)
法人税等	▲ 29	▲ 24	+5	・特別損失：▲17 (▲5→▲22)
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	▲ 1	▲ 1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	▲ 17	▲ 70	
(率)	2.0%	▲ 0.7%	▲ 2.7	
銅建値 平均	1,286	1,219	▲ 67	
為替 平均	130	137	+8	

《2023/5/11公表》

FY22	FY23 予想	前年比
10,663	11,000	+337
154	240	+86
1.4%	2.2%	+0.7
36	-	-
17	-	-
173	230	+57
1.6%	2.1%	+0.5
107	▲ 5	▲ 112
▲ 103	-	-
▲ 17	-	-
159	130	▲ 29
1.5%	1.2%	▲ 0.3
1,209	1,180	▲ 29
135	130	▲ 5

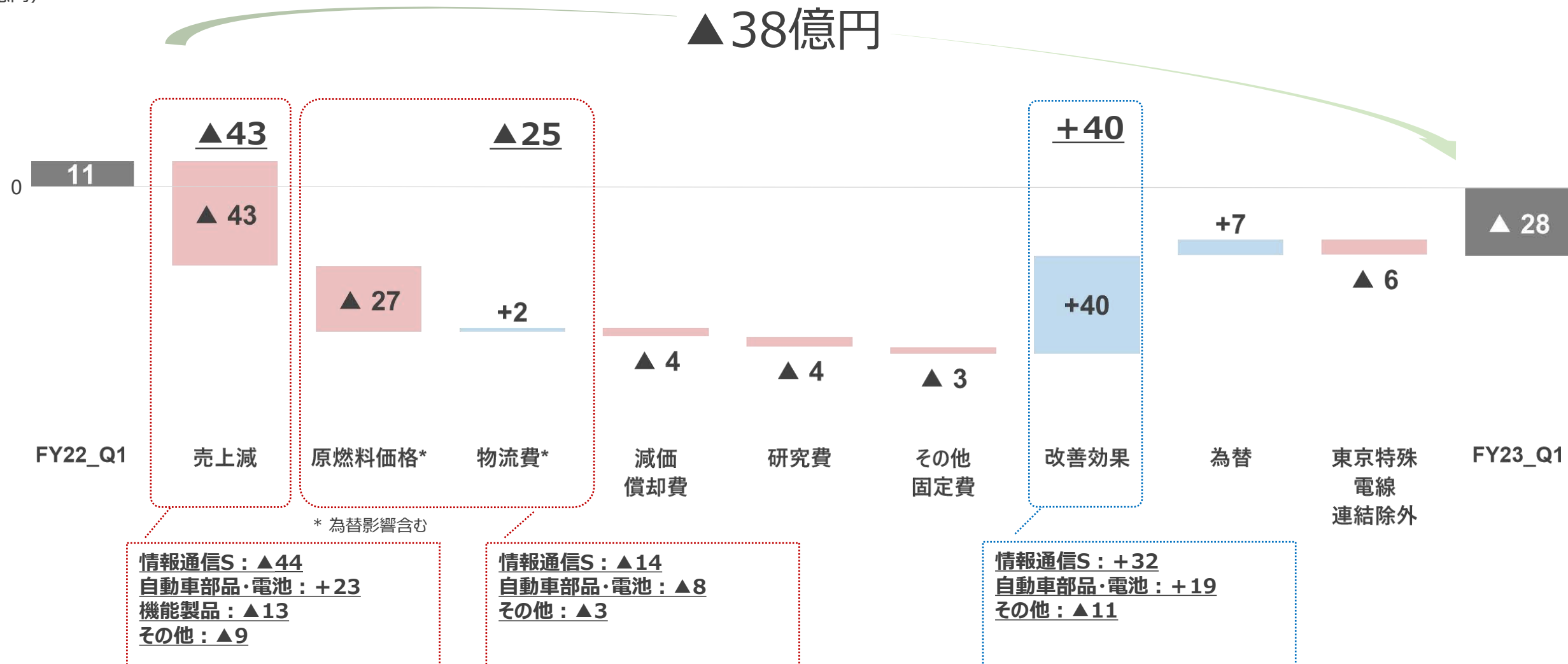
* (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

23年度Q1実績-売上高の増減要因



23年度Q1実績-営業利益の増減要因

(億円)



23年度Q1実績-セグメント別売上高・営業利益

■通期予想は据え置き

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
インフラ	770	687	▲ 83	4	▲ 32	▲ 36
情報通信ソリューション	539	468	▲ 71	8	▲ 17	▲ 25
エネルギーインフラ	231	219	▲ 12	▲ 3	▲ 15	▲ 11
電装エレクトロニクス	1,477	1,497	+20	▲ 13	2	+15
自動車部品・電池	786	882	+96	▲ 26	1	+26
電装エレクトロニクス材料	691	615	▲ 76	13	1	▲ 11
機能製品	347	275	▲ 72	22	7	▲ 15
サービス・開発等	80	65	▲ 16	▲ 2	▲ 6	▲ 4
連結消去	▲ 71	▲ 59	+12	▲ 1	1	+1
連結合計	2,603	2,464	▲ 139	11	▲ 28	▲ 38

《2023/5/11公表》

売上高			営業利益		
FY22	FY23 予想	前年比	FY22	FY23 予想	前年比
3,239	3,350	+111	86	100	+14
2,176	2,200	+24	65	80	+15
1,063	1,150	+87	21	20	▲ 1
6,103	6,450	+347	47	125	+78
3,374	3,750	+376	15	85	+70
2,730	2,700	▲ 30	32	40	+8
1,265	1,250	▲ 15	42	40	▲ 2
317	300	▲ 17	▲ 21	▲ 25	▲ 4
▲ 261	▲ 350	▲ 89	1	0	▲ 1
10,663	11,000	+337	154	240	+86

23年度通期予想について

- 情報通信ソリューション事業は下振れを見込むが、回復傾向が見え始めた自動車部品・電池、機能製品事業等でカバーを図る
- 現時点では通期予想は据え置き

23年度営業利益

単位：億円 セグメント	サブセグメント	*FY23 予想	営業利益進捗見込み		
			Q1	Q2	下期
インフラ	情報通信ソリューション	80	▲17	Q1並み	精査中
	エネルギーインフラ	20	▲15	Q1並み	Q3から回復
電装 エレクトロニクス	自動車部品・電池	85	1	改善	さらに改善
	電装エレクトロニクス材料	40	1	Q1並み	Q3から回復
機能製品		40	7	Q1並み	Q3から回復

*2023/5/11公表

FY23_Q1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	539	468	▲ 71
営業利益	8	▲ 17	▲ 25

【増減益要因】

- (-) 北米の顧客の在庫調整、プロジェクト遅延等による減収
- (-) ブラジル通信事業者の投資抑制による減収
- (-) 原燃料価格の上昇
- (+) 改善効果
※販売価格適正化、生産性改善、高付加価値製品拡販

状況認識

ファイバ・ケーブル&光デバイス製品

FY23_Q1～

米州需要の
急速な減少顧客の在庫過多
工事遅延
顧客の投資抑制

精査中

今後の対応

- 高付加価値製品ラインアップ拡充と顧客層の拡大
- 固定費の削減
- 操業にあわせた人員配置
- 需要回復時の即応体制
- 在庫水準・販売価格の適正化

FY23_Q1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	231	219	▲ 12
営業利益	▲ 3	▲ 15	▲ 11

【増減益要因】

- (-) 中国景気回復鈍化による顧客工事延期の継続
- (-) ケーブル製造能力増強投資に伴う減価償却費増
- (-) 製品補償費用の発生

- (+) アルミCV等の機能線は堅調

状況認識

FY23_Q1

Q3~

中国市場の
回復遅れ

緩やかに回復

海外海底線、国内超高圧地中線ともに
例年以上に案件は下期集中

機能線は堅調

今後の対応

- ターゲット市場（国内超高圧地中線、再エネ関連）における利益重視の受注と販売価格の適正化
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
- マーケティング活動の推進（アルミCV、送配電部品）

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY23_Q1

増収増益

(単位：億円)

	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	786	882	+96
営業利益	▲ 26	1	+26

【増減益要因】

- (+) コロナ影響や顧客の半導体不足の緩和による増収
- (+) 改善効果
 - ※生産性改善、販売価格の適正化、エア費削減
- (-) 原燃料価格の上昇
- (-) 製品補償費用の発生
- (-) 中国市場の日系OEM向けの低迷

状況認識

自動車部品

FY22

顧客の生産減少
および
計画の急変動

半導体不足

⇒生産性悪化

FY23_Q1

徐々に顧客の
生産増加
および
計画安定化

⇒生産性改善

Q2～

顧客の
生産増加生産性の
さらなる改善

電池

車載、産業用ともに売上は下期集中

今後の対応

- 顧客の生産計画情報の先取りによる生産の平準化
- 顧客の生産・積送リードタイム変動に対する戦略在庫の保有
- 販売価格の適正化

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY23_Q1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q1	FY23_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	691	615	▲ 76
営業利益	13	1	▲ 11

【増減益要因】

(-) 車載・エレクトロニクス関連の需要減

(+) 販売価格の適正化

状況認識

FY22_Q2後半～

車載・エレクトロニクス
関連製品の需要減速

Q3～

緩やかに回復

今後の対応

- 高付加価値品の拡販による製品ミックスの改善継続
 - パワー半導体および放熱部品向け耐熱無酸素銅条
 - 電子機器の高機能化に対応したオリジナル合金
 - 5G通信インフラおよび車載ECU用インダクタ向け巻線
- 販売価格の適正化の継続

FY23_Q1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q1	*FY22_Q1 (特殊要因除く)	FY23_Q1	前年比
	a	a'	b	b-a'
売上高	347	311	275	▲ 36
営業利益	22	16	7	▲ 9

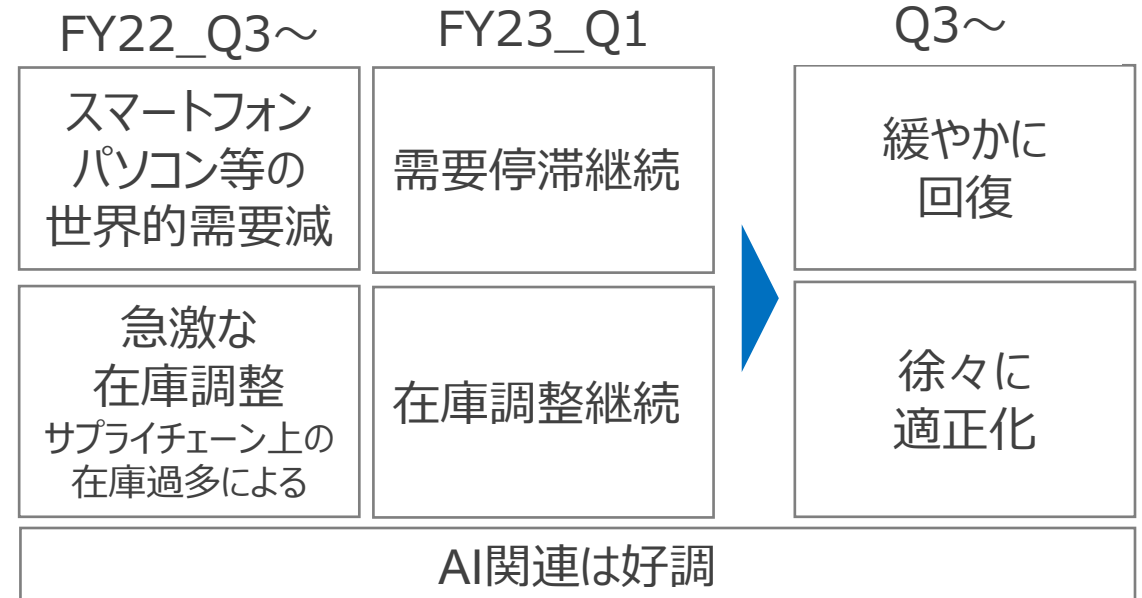
*特殊要因 = 東京特殊電線(株)の連結除外影響

【増減益要因】

(-) スマートフォン・パソコン・データセンタ向け製品の
需要減、サプライチェーン上の在庫調整
※特に前年度の需要が旺盛だったHDD用アルミ
ブランク材の減収

(+) AI関連の需要好調

状況認識



今後の対応

- 5G、データセンタ、再生可能エネルギー関連市場向け高付加価値製品の拡販
 - 半導体製造用テープ、高機能放熱・冷却製品
 - 薄型HDDブランク材、高周波基板用銅箔
- 需要回復時の即応体制

23年度Q1実績-要約B/S

(単位：億円)	*FY22_Q4末	FY23_Q1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	4,868	5,093	+225
現金及び預金	474	558	+84
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296	2,278	▲ 18
棚卸資産計	1,723	1,864	+141
固定資産	4,466	4,522	+56
有形固定資産	2,693	2,741	+48
無形固定資産	202	201	▲ 1
投資その他の資産	1,571	1,581	+9
資産合計	9,335	9,616	+281
流動負債	3,810	4,007	+196
固定負債	2,233	2,270	+37
負債合計	6,044	6,277	+233
株主資本	2,835	2,763	▲ 71
その他の包括利益累計額	182	300	+118
非支配株主持分	274	275	+0
純資産合計	3,291	3,338	+47
負債・純資産合計	9,335	9,616	+281
有利子負債	3,238	3,425	+187
自己資本比率	32.3%	31.9%	▲ 0.4
NET D/Eレシオ	0.9	0.9	+0.0

棚卸資産

141億円 増加（為替・銅価の影響：+60億円を含む）

戦略在庫（半導体不足や海上輸送リードタイム長期化等の事業環境変化に備えた在庫の確保）
将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等
売上急増減等の外的要因

有形無形固定資産

47億円 増加

設備投資・減価償却費の影響：0億円
為替影響：+71億円
連結除外影響：▲30億円

資産合計

281億円 増加

為替影響：+215億円
新規連結の影響：+4億円

その他包括利益

118億円 増加

為替換算調整勘定：+111億円（円安影響）

NET有利子負債

103億円 増加（2,764億円→2,867億円）

*（株）UACJ（持分法適用関連会社）の国際財務報告基準（IFRS）任意適用開始により、FY22実績値をリステイト（Appendix参照）

■通期予想は据え置き

(単位：億円)	FY22 Q1	FY23 Q1	前年比
	a	b	b-a
設備投資額	64	85	+22
減価償却費	92	95	* +2
研究開発費	59	64	+4

*東京特殊電線(株)連結除外の影響を除くと+4

*FY23 予想	前年比
460	+22
400	+9
270	+37

*2023/5/11公表

ご清聴ありがとうございました。

The slogan "Bound to Innovate" in a bold, italicized, black serif font. A red graphic element, resembling a stylized lightning bolt or a curved arrow, starts under the word "Bound" and extends upwards and to the right, ending under the word "Innovate".

Appendix

■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始

上記変更に伴うFY22実績のリステイト

(単位：億円)

	FY22_Q1		FY22	
売上高	2,603	2,603	10,663	10,663
営業利益	11	11	154	154
(率)	0.4%	0.4%	1.4%	1.4%
持分法投資損益	42	37	60	36
為替損益	30	30	17	17
経常利益	83	77	196	173
(率)	3.2%	3.0%	1.8%	1.6%
特別損益	4	4	107	107
法人税等	▲ 30	▲ 29	▲ 107	▲ 103
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0	▲ 17	▲ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	53	179	159
(率)	2.2%	2.0%	1.7%	1.5%

■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始

上記変更に伴うFY22実績のリステイト

	FY22_Q4末		FY22_Q4末
		(単位: 億円)	
流動資産	4,868		4,868
現金及び預金	474		474
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296		2,296
棚卸資産計	1,723		1,723
固定資産	4,480		4,466
有形固定資産	2,693		2,693
無形固定資産	202		202
投資その他の資産	1,585		1,571
資産合計	9,348		9,335
流動負債	3,810		3,810
固定負債	2,228		2,233
負債合計	6,038		6,044
株主資本	2,806		2,835
その他の包括利益累計額	230		182
非支配株主持分	274		274
純資産合計	3,310		3,291
負債・純資産合計	9,348		9,335
有利子負債	3,238		3,238
自己資本比率	32.5%		32.3%
NET D/ELシオ	0.9		0.9
ROE	6.1%		5.5%

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		